

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	子どもが健やかに生まれ育つ環境の充実		課(室)名	こども園総務課
	施策	子どもの成長への支援		電話番号	087-839-2359
	基本事業	健やかな成長を促す学びへの支援		事業実施主体	市
	事務事業	私立保育所・幼稚園等施設整備補助事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	待機児童の解消を図るため、幼稚園等から認定こども園への移行、私立保育所等の創設等の施設整備に対して支援を行う。また、保育環境の改善、保育施設の保持等を図るため、私立保育所が実施する大規模修繕等の施設整備に対しても支援を行う。				
	30年度概要	平成28年度公募分 国庫補助（創設）及び県補助（移行）に対する市単独補助（6施設） 平成29年度公募分 改築（0施設）			
重点取組事業	特別重点	市長マニフェスト	1-	事務事業の類型	

【事業の目的】

対象（何を）	施設整備を実施する私立保育所・幼稚園等
意図（どのような状態にしたいか）	待機児童解消のための教育・保育環境の確保及び改善等のため。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
認定こども園への移行・保育所の創設等	施設		6	11	22	22
大規模修繕実施施設数	施設		0	0	6	6

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
成果指標	待機児童数（4月1日現在）	人	目標値		279	0	0	0
			実績値		321	224		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 待機児童解消により教育・保育環境を確保することができる。 (目標達成度)							(達成度)
成果指標	大規模修繕実施施設対象児童数	人	目標値		512	512	1,076	1,076
			実績値		512	512		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 教育・保育環境の改善により、児童に安心安全な環境を提供できる。 (目標達成度)							(達成度)
								100.0%
								35点

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度（決算）	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（予算）
トータルコスト	[円]	80,584	633,077	1,154,498	364,089
（事業費）	[円]	78,281	630,722	1,152,222	361,813
（職員人件費）	[円]	2,303	2,355	2,276	2,276

【評価】

評価ランク (A～D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入） 補助金交付要綱に基づき実施する必要があるが、民間施設の意向に対応しながら、必要な整備方針や内容を見直し精査することでコスト削減を進める。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入） 子ども・子育て支援新制度の施行に伴う民間施設の意向や市民へのニーズ調査の結果をもとに施設整備方針を見直し、必要な整備内容を精査することでさらにコスト削減を進める。			

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	子どもが健やかに生まれ育つ環境の充実		課(室)名	こども園総務課
	施策	子どもの成長への支援		電話番号	087-839-2359
	基本事業	健やかな成長を促す学びへの支援		事業実施主体	市
	事務事業	公立保育所・幼稚園等施設整備事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	子どもが健やかに育つ環境をつくるため、施設の老朽化の状況や認定こども園への移行に向けた、公立保育所・幼稚園の施設整備を実施する。				
30年度概要	便所改修工事及び設計業務委託（1施設） 計画修繕工事 遊具改修（2施設） 防犯対策整備事業 境界確定業務委託				
重点取組事業	特別重点	市長マニフェスト	1-	事務事業の類型	インフラ・施設等整備

【事業の目的】

対象（何を）	公立保育所・幼稚園・認定こども園施設
意図（どのような状態にしたいか）	教育・保育環境の改善及び施設の保持等を図るため

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
認定こども園整備施設数	施設		0	1	1	1
大規模修繕実施施設数	施設		3	4	4	4

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
成果指標	認定こども園対象児童数	人	目標値		0	258	258	258
			実績値		0	258		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 幼稚園と保育所の機能や特徴を合わせ持ち、地域の子育て支援も提供できる。 (目標達成度)	1200 1000 800 600 400 200 0						(達成度) 100.0% 35点
成果指標	大規模修繕実施施設対象児童数	人	目標値		854	924	924	924
			実績値		854	924		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 教育・保育環境の改善により、児童に安心安全な環境を提供できる。 (目標達成度)	1200 1000 800 600 400 200 0						(達成度) 100.0% 35点

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度（決算）	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（予算）
トータルコスト	[円]	920,505	1,574,342	263,913	303,034
（事業費）	[円]	917,434	1,571,202	260,878	299,999
（職員人件費）	[円]	3,071	3,140	3,035	3,035

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	----------	--------------------------	-----------

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

事業費の増加が予想されることから、各施設の整備計画において、ファシリティマネジメントの考え方をを用いることで、コスト縮減に配慮しながら、更なる教育保育の環境改善を進める。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

子ども・子育て支援新制度の施行に伴う民間施設の動向をにより需給調整を図りつつ、幼保連携型認定こども園への移行に伴う整備項目を見直し、統廃合等の整備計画を進める。

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	子どもが健やかに生まれ育つ環境の充実		課(室)名	こども園運営課
	施策	子どもの成長への支援		電話番号	087-839-2358
	基本事業	健やかな成長を促す学びへの支援		事業実施主体	市
	事務事業	保育所・幼稚園等への芸術士派遣事業		事業期間	平成29年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	子どもの創造性を育む指導や援助の在り方についての取組を進めるため、絵画や造形などの専門家である芸術士を保育所・こども園・幼稚園へ派遣し、それぞれの芸術分野を生かしながら、子どもが持っている感性や創造力を伸ばしていけるよう専ら事業を実施します。 実事業期間 平成21年度～
-------	--

30年度概要	芸術士の保育所・幼稚園等への派遣 （派遣先施設 43か所） 内訳 公立保育所等 16か所 私立保育所等 17か所 公立幼稚園 10か所
--------	---

重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト	5-	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）
--------	------	----------	----	---------	-------------------

【事業の目的】

対象（何を）	高松市内公私立保育所・こども園及び公立幼稚園
意図（どのような状態にしたいか）	子どもの持つ豊かな感性や創造力を引き出す派遣事業に対して、保育所・こども園・幼稚園がその意義に対する認識を深め、日々の保育に生かせるようになる。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
芸術士派遣施設数	施設		40	40	43	40

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
成果指標	芸術士派遣事業実施施設の満足度	%	目標値		100	100	100	100
			実績値		95	89		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 施設における満足度は高く、概ね達成できた。（目標達成度）							（達成度） 89.0% 31点
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） （目標達成度）							（達成度）

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度（決算）	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（予算）
トータルコスト	[円]	39,152	39,187	39,134	39,517
（事業費）	[円]	37,617	37,617	37,617	38,000
（職員人件費）	[円]	1,535	1,570	1,517	1,517

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	----------	--------------------------	-----------

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

派遣先施設職員、児童及び保護者の反応も好感触であり、事業開始後、順調な成果があがっている。本市独自の事業であり、報告展の実施などにより、市民の認知度も高まってきていることから、今後も継続して実施することが望ましい事業である。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

財源として活用できる国庫補助金等の確保に努める。

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	子どもが健やかに生まれ育つ環境の充実		課(室)名	子育て支援課
	施策	子どもの成長への支援		電話番号	087-839-2354
	基本事業	健やかな成長を促す学びへの支援		事業実施主体	市
	事務事業	年長児童の赤ちゃん出会い・ふれあい交流事業		事業期間	平成28年度～平成30年度

【事業全体概要】

事業の概要	家庭での親子のふれあいや地域における様々な人との出会い・コミュニケーションを活性化し、児童の健全な育成及び次代の親づくりを促進するため、年長児童（小学校高学年・中学生・高校生）を対象に、乳幼児やその保護者と出会い・ふれあい・交流する場を提供し、赤ちゃんとのかかわり方の学習及び乳幼児の安全な抱き方・遊び方などの体験学習を行う。		
30年度概要	年長児童を対象に乳幼児や保護者と出会い・ふれあい・交流する場を提供する。赤ちゃんとのかかわり方などの学習及び抱き方、遊び方などの体験学習を行う。 対象校13校 各校の学年全クラスで事業開催 (事前授業1時間、ふれあい授業1時間)		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	

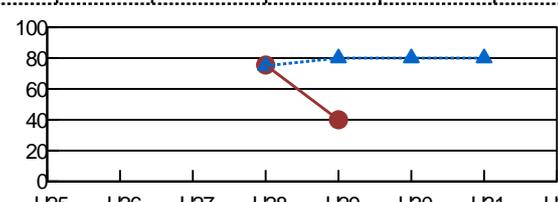
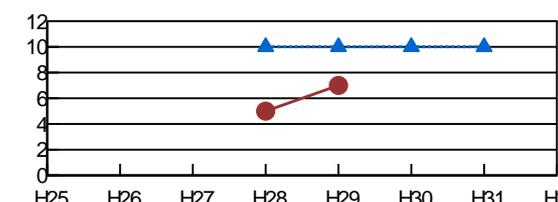
【事業の目的】

対象(何を)	年長児童（小学校高学年・中学生・高校生など）及び乳幼児とその保護者
意図(どのような状態にしたいか)	家庭での親子のふれあいや地域における様々な人々とのコミュニケーションを活性化し、児童の健全な育成及び次代の親づくりを促進する。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
ふれあい体験参加生徒数	人		1,806	2,036	2,200	2,200

【事業の成果】

成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
結婚や子育てについて具体的にイメージできた生徒の割合	%	目標値		75	80	80	80
		実績値		75.5	40		
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 結婚や子育てについて具体的にイメージできた生徒の割合は想定より少なく、目標を達成できなかった。 							(達成度) 50.0% 17点
事業後に結婚や子育てのイメージができたと変化した割合	%	目標値		10	10	10	10
		実績値		5	7		
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 目標値には達してはいるが、事業を実施することにより、生徒の気持ちに変化があった。 							(達成度) 70.0% 24点

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)
トータルコスト	[円]	2,655	3,010	3,137	3,672
(事業費)	[円]	1,120	1,440	1,620	2,155
(職員人件費)	[円]	1,535	1,570	1,517	1,517

【評価】

評価ランク (A～D)	B	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

10校の中学校がふれあい体験事業を実施した。家庭科や総合の時間に体験事業を実施しているため、学校の理解や授業の調整が必要となり、実施校数の増大には至っていない。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

ふれあい体験の重要性を各学校に伝え、事業の推進を図るとともに、多くの学校で体験学習が実施できるよう、ふれあい事業を運営する拠点団体を増やす。

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	子どもが健やかに生まれ育つ環境の充実		課(室)名	こども園総務課
	施策	子どもの成長への支援		電話番号	087-839-2359
	基本事業	健やかな成長を促す学びへの支援		事業実施主体	市
	事務事業	私立認定こども園施設型給付事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	子ども・子育て支援法第27条第1項に基づき、支給認定子どもが特定教育・保育施設で特定教育・保育を受けるに要した費用について施設型給付費を支給するもの		
30年度概要	私立認定こども園施設型給付費 18施設（給付費には特別保育事業を含む。ただし、拠点事業は別の事務事業で計上するため除外する。なお、施設数には分園1を含む。）		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	

【事業の目的】

対象（何を）	私立認定こども園
意図（どのような状態にしたいか）	私立認定こども園が安定的な教育・保育が実施できるよう運営支援を行う。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
施設への給付件数	件		6	10	18	4

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
	待機児童数（4月1日現在）	人	目標値		279	0	0	0
			実績値		321	224		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） まだ待機児童が発生している状況である。（目標達成度）							(達成度)
	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） （目標達成度）							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度（決算）	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（予算）
トータルコスト	[千円]		592,205	1,260,507	2,408,770
（事業費）	[千円]		585,924	1,254,437	2,402,700
（職員人件費）	[千円]		6,281	6,070	6,070

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

--

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

各施設の地域の子供の利用状況や今後の動向の把握等に努め、地域の教育・保育に係る提供体制を確保し、新制度を円滑に施行する。
--

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	子どもが健やかに生まれ育つ環境の充実		課(室)名	こども園総務課
	施策	子どもの成長への支援		電話番号	087-839-2359
	基本事業	健やかな成長を促す学びへの支援		事業実施主体	市
	事務事業	私立幼稚園施設型給付事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	子ども・子育て支援法第27条第1項に基づき、支給認定子どもが私立幼稚園（施設型給付費）で特定教育・保育を受けるに要した費用について施設型給付費を支給するもの		
30年度概要	私立幼稚園施設型給付費（特別保育事業を含む） 6施設		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	

【事業の目的】

対象（何を）	私立幼稚園（施設型給付費）
意図（どのような状態にしたいか）	私立幼稚園（施設型給付費）が、子ども・子育て支援法に定める最低基準を維持しつつ、安定的な保育が実施できるよう運営支援する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
施設への給付件数	件		2	4	6	2

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
	待機児童数（4月1日現在）	人	目標値		279	0	0	0
			実績値		321	224		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） まだ待機児童が発生している状況である。（目標達成度）							(達成度)
	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） （目標達成度）							

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度（決算）	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（予算）
トータルコスト	[円]		122,380	239,795	390,783
（事業費）	[円]		121,595	239,036	390,024
（職員人件費）	[円]		785	759	759

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

--

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

各幼稚園における地域の子供の利用状況や各幼稚園経営者の今後の動向の把握等に努め、地域の教育・保育に係る提供体制を確保し、新制度を円滑に施行する。

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	子どもが健やかに生まれ育つ環境の充実		課(室)名	こども未来館
	施策	子どもの成長への支援		電話番号	087-839-2571
	基本事業	健やかな成長を促す学びへの支援		事業実施主体	市
	事務事業	こども未来館わくわく体験事業		事業期間	平成29年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	子どもを中心とした幅広い世代の人々の交流、子育てに係る支援並びに学習及び体験活動の場を提供することにより、子どもの夢や想像力を育むとともに、健やかな成長に資するため、遊びや科学、アートなどの体験活動を提供するイベントプログラムや親子で参加できる体験イベント等の様々な魅力ある事業を提供し、継続的な利用を促進する。
-------	--

30年度概要	公募プログラム等：8日 こども未来館まつり等 ・開館記念日（11月23日）イベント：1日 ・遊び体験プログラム（通年）：10日
--------	--

重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト	1-	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）
--------	------	----------	----	---------	-------------------

【事業の目的】

対象（何を）	子どもを中心とした幅広い世代の人々
意図（どのような状態にしたいか）	魅力あるイベントプログラムを提供することにより、子どもを中心とした幅広い世代の人々の来館を促すとともに、継続的な利用を促進する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
わくわく体験事業開催日数	日			17	19	19

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
成果指標	わくわく体験事業参加者数	人	目標値			3,800	3,800	3,800
			実績値			4,833		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 目標の約1.2倍を超える人が参加した。							(達成度) 127.2%
		(目標達成度)						35点
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度（決算）	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（予算）
トータルコスト	[円]			12,860	13,322
（事業費）	[円]			2,238	2,700
（職員人件費）	[円]			10,622	10,622

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

開館記念日（11月23日）にこども未来館まつりを開催し、好評を得た。公募プログラムについては、提案公募に参加する事業者が少なく、今後、選定方法等について、検討する必要がある。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

今後も公募プログラムやこども未来館まつり等、魅力あるイベントを開催していきたい。
--

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	子どもが健やかに生まれ育つ環境の充実		課(室)名	こども未来館
	施策	子どもの成長への支援		電話番号	087-839-2571
	基本事業	健やかな成長を促す学びへの支援		事業実施主体	市
	事務事業	子ども・子育て支援事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	みんなのひろばとプレイルームを子どもと保護者の居場所として提供するとともに、子ども・子育ての相談に対応する。また、専門相談が必要な場合は、適切な機関に取次ぎを行う。				
30年度概要	子ども・子育て支援事業 ・子育てに関する相談・事後対応 ・子どもと保護者の居場所提供事業				
重点取組事業	市長マニフェスト	1-	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）	

【事業の目的】

対象（何を）	小学校2年生までの子どもと子どもの保護者
意図（どのような状態にしたいか）	みんなのひろばとプレイルームを子どもと保護者の居場所として提供し、子どもと親がともに育ち合う子育て支援機能とふれあい・交流による多世代交流機能を果たすことを目的としている。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
みんなのひろば・プレイルームの開室日数	日		106	305	308	308

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
みんなのひろば・プレイルーム利用者数	人	目標値		10,000	25,200	25,200	25,200
		実績値		35,082	76,597		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 目標の約3倍以上の人が利用した。 (目標達成度)						(達成度) 304.0% 35点	
成果指標名（どのような成果が得られたか） 成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
		目標値					
		実績値					
						(達成度)	

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度（決算）	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（予算）
トータルコスト	[円]		26,480	35,286	29,708
（事業費）	[円]		21,769	29,975	24,397
（職員人件費）	[円]		4,711	5,311	5,311

【評価】

評価ランク (A～D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）			
予想をはるかに超える利用者で、子どもの安全確保のため入室制限を実施することもあった。今後も状況に応じて入室制限を実施する必要がある。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）			
引き続き、子どもと保護者が気軽にかつ自由に交流できる場として多くの人に利用される施設を目指したい。			

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	子どもが健やかに生まれ育つ環境の充実		課(室)名	こども未来館
	施策	子どもの成長への支援		電話番号	087-839-2571
	基本事業	健やかな成長を促す学びへの支援		事業実施主体	市
	事務事業	こども未来館学習体験事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	こども未来館学習は、こども未来館の施設を利用した体験的な学習活動を通して、子どもたちの想像力と探究心を育むことで、健やかな成長に資することを目的に実施する。また、こども教室の開催やプラネタリウムの投影など、楽しく学べる場所を提供している。				
30年度概要	学習事業 ・こども未来館学習の実施 ・こども教室の実施 体験事業 ・不用品を使ったアート体験プログラムの実施				
重点取組事業	市長マニフェスト	1-	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）	

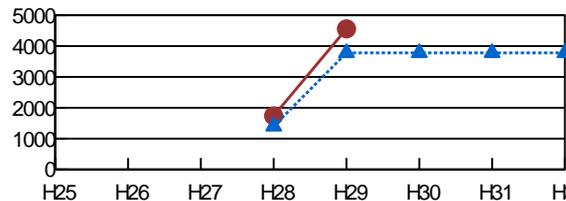
【事業の目的】

対象（何を）	こども未来館学習として、高松市内の小学校4年生（ただし、学校の状況により5年生以上、学校の希望により、中学校の生徒を対象に実施できる。加えて、瀬戸・高松広域連携中枢都市圏の小・中学生も受け入れ可能）こども教室は小学生以下を対象としている。
意図（どのような状態にしたいか）	こども未来館の施設を活用した体験的な学習活動を通して、子どもたちの想像力と探究心をはぐくむことで、健やかな成長に資することを目的とする。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
こども未来館学習実施学校数	校		21	54	50	50

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
成果指標	こども未来館学習実施延べ人数	人	目標値		1,400	3,780	3,780	3,780
			実績値		1,737	4,558		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 54校（瀬戸・高松広域連携中枢都市圏の小学校6校含む）がこども未来館学習を実施し、目標の1.2倍を超える人が学習体験を行った。 							
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度（決算）	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（予算）
トータルコスト	[円]		34,152	48,984	51,340
（事業費）	[円]		24,731	35,327	37,683
（職員人件費）	[円]		9,421	13,657	13,657

【評価】

評価ランク (A～D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）			
こども未来館学習については、瀬戸・高松広域連携中枢都市圏の小学校からの参加希望もあり、好評を得ている。実施した学校からの意見等を検討し、より良いものになるよう見直しを図る必要がある。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）			
こども未来館学習を実施した学校からの意見等を踏まえて検討を重ねて、更により良いものになるよう見直しを図りたい。			